

四條畷市におけるICT・IoT推進に向けた取組み

2019.8.5

四條畷市

1. 四條畷市の概要	2
2. 四條畷市がめざす方向性	5
3. 事例紹介	9
4. 今後の取組み	29

四條畷市の概要

府内でも小規模な市。財政力は低いが、アクセスの良い住宅都市

四條畷市の位置と主な数値



- 人口
55,666人* 32位／33市中
- 面積
18.69km² 山地が2/3を占める
- アクセス
 - JR北新地駅まで約21分
 - JR新大阪駅まで約25分
- 財政力指数
0.626** 28位／33市中

*令和元年7月1日時点

**平成30年度

(ご参考)市長・副市長のご紹介



東 修平(あずま しゅうへい)

- 30歳(1988年大阪府生まれ)
- 外務省・野村総合研究所インドにて勤務
- 現職で最年少市長(当選時28歳)

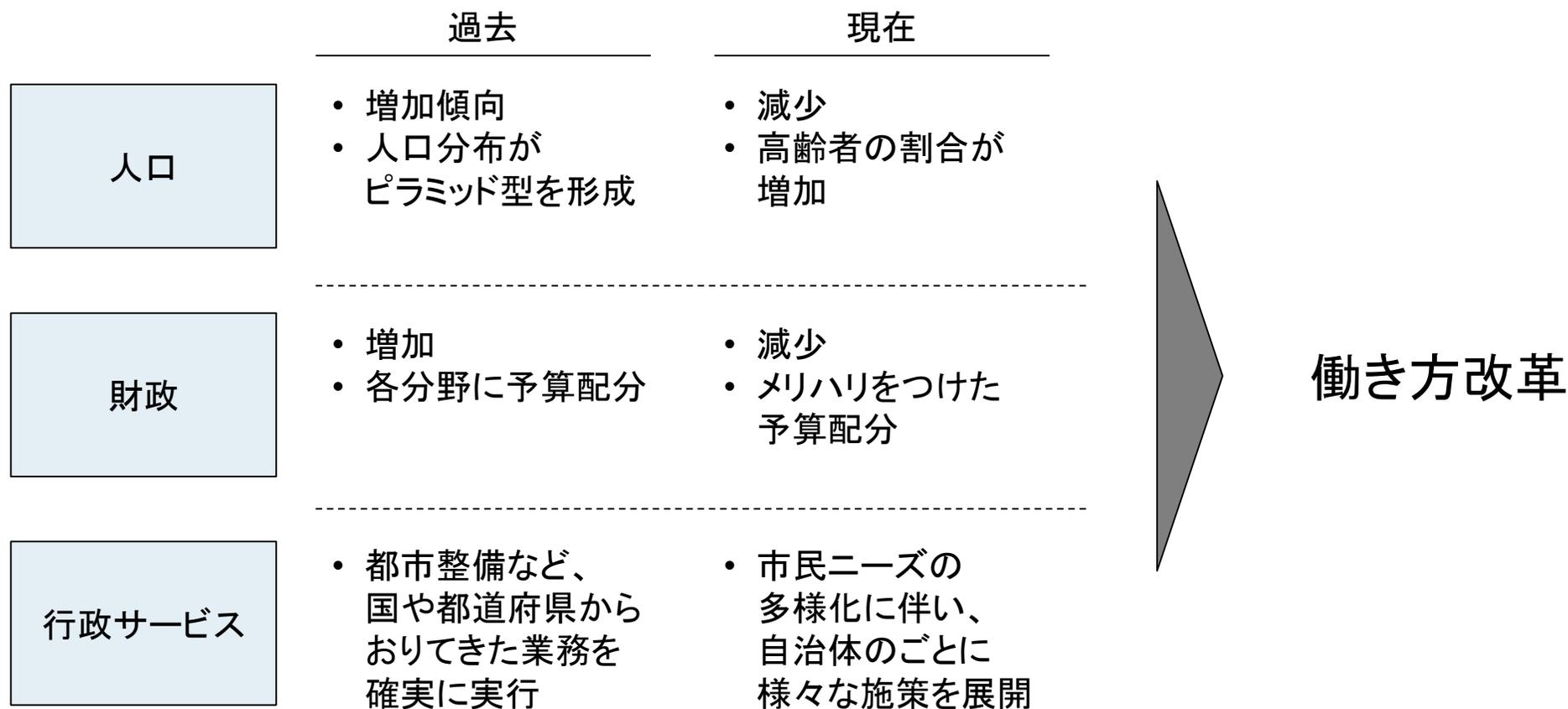


林 有理(はやし ゆうり)

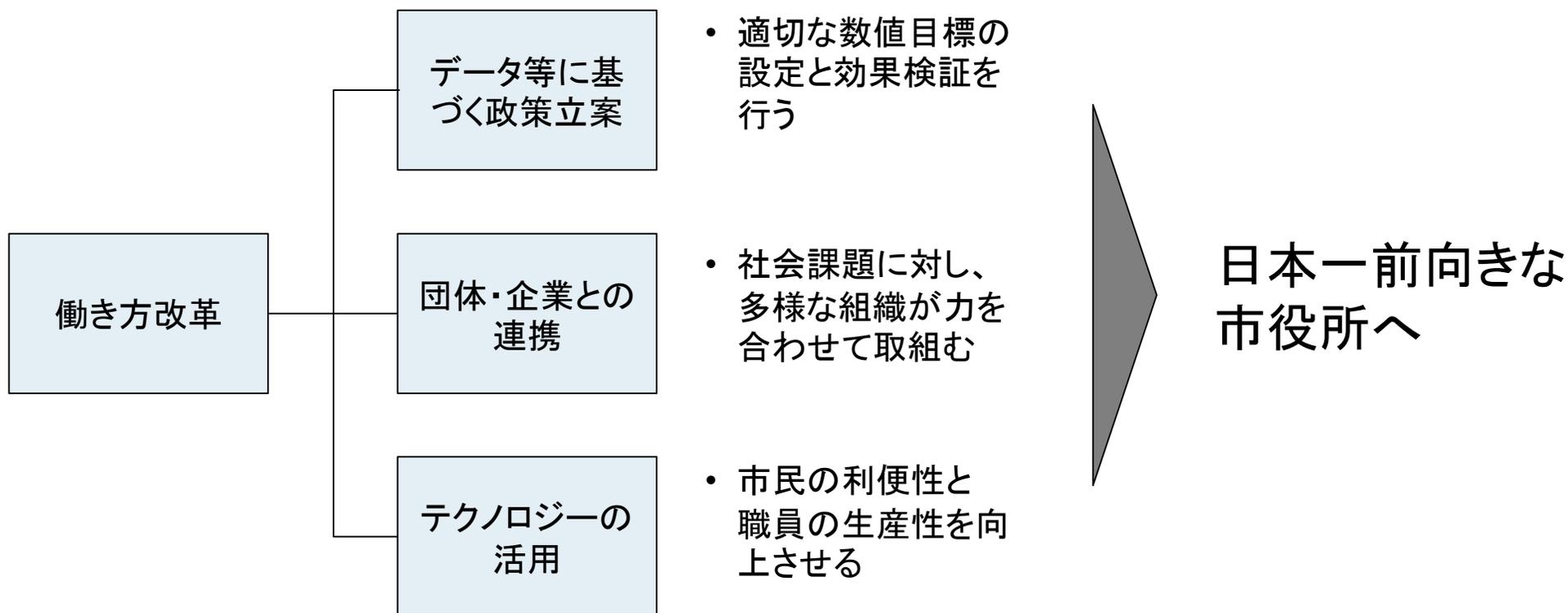
- 39歳(1980年大阪府生まれ)
- リクルート社にてスーモマガジン編集長を務める
- 全国公募にて1,700人の中から副市長に選ばれる
- 2歳の娘を子育て中のワーキングママ

1. 四條畷市の概要	2
2. 四條畷市がめざす方向性	5
3. 事例紹介	9
4. 今後の取組み	30

人口や財政等の変化に伴い、基礎自治体の働き方を変える必要がある



本質的な働き方改革を通じ、日本一前向きな市役所をめざす

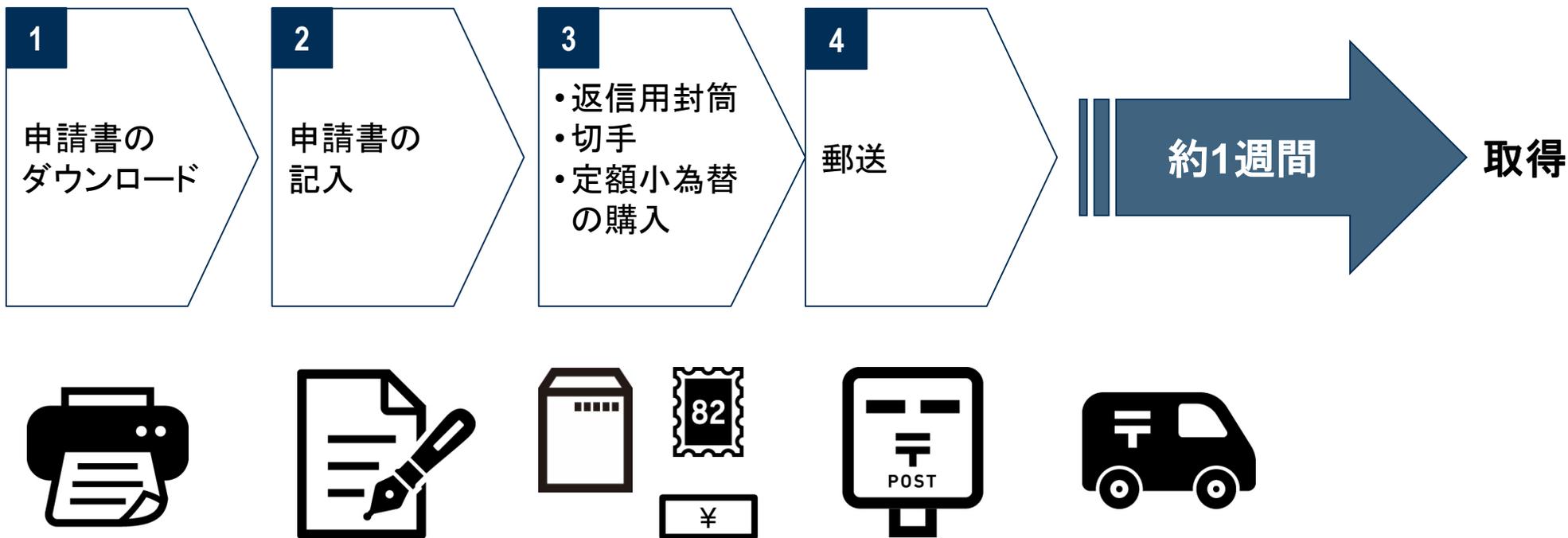


1. 四條畷市の概要	2
2. 四條畷市がめざす方向性	5
3. 事例紹介	9
4. 今後の取組み	30

① オンラインによる住民票の取得

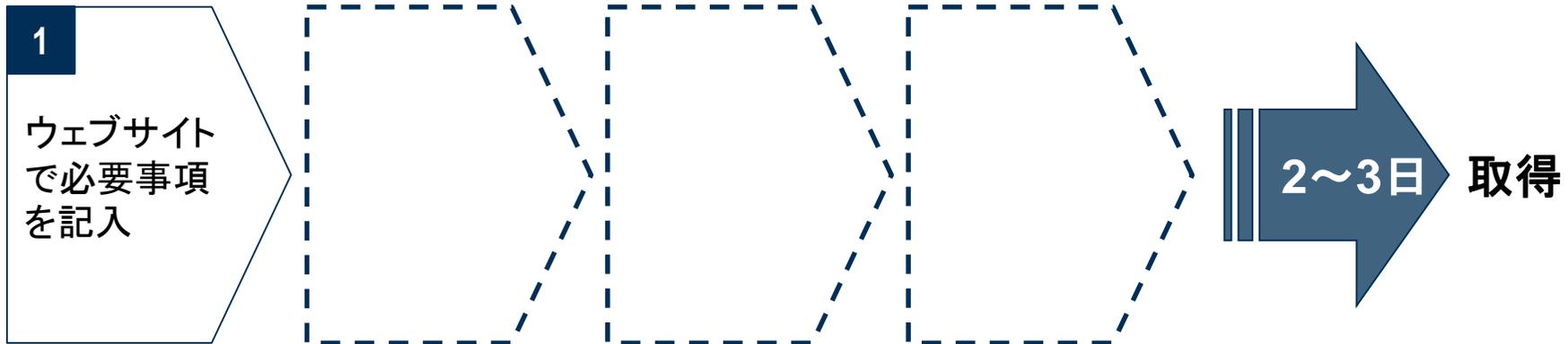
郵送による住民票の取得は、日数を要し、住民への負担も大きい

郵送による住民票取得の流れ



ウェブサイトを通じたオンラインによる住民票の取得は、早くて便利

オンラインによる住民票取得の流れ



(ご参考)住民票取得のウェブサイト:トップページ

大阪府 四條畷市 × Graffer フォーム 住民票請求

四條畷市公式 実証実験中 住民票請求のお申込み

Graffer® フォーム 住民票請求 四條畷市公式版 へようこそ。
まずは、必要な住民票の通数をご入力の上、必要な金額をご確認ください。

必要な通数 (世帯全員分) *

1 通

必要な通数 (世帯の一部) *

0 通

金額 (税込) ¥300

ログイン or サインアップして進む

アカウント登録をお願いしている理由につきまして
お申込み頂いた手続きに関してのご案内や確認事項がある場合、ご連絡させていただく
場合があります。
そのため、メールアドレスの確認ができるアカウント登録をお願いしております。

Help

(ご参考)住民票取得のウェブサイト:ログイン

Graffer
Grafferフォーム

 Googleでログイン

 LINEでログイン

または

姓

名

 登録用メールアドレス

 パスワード

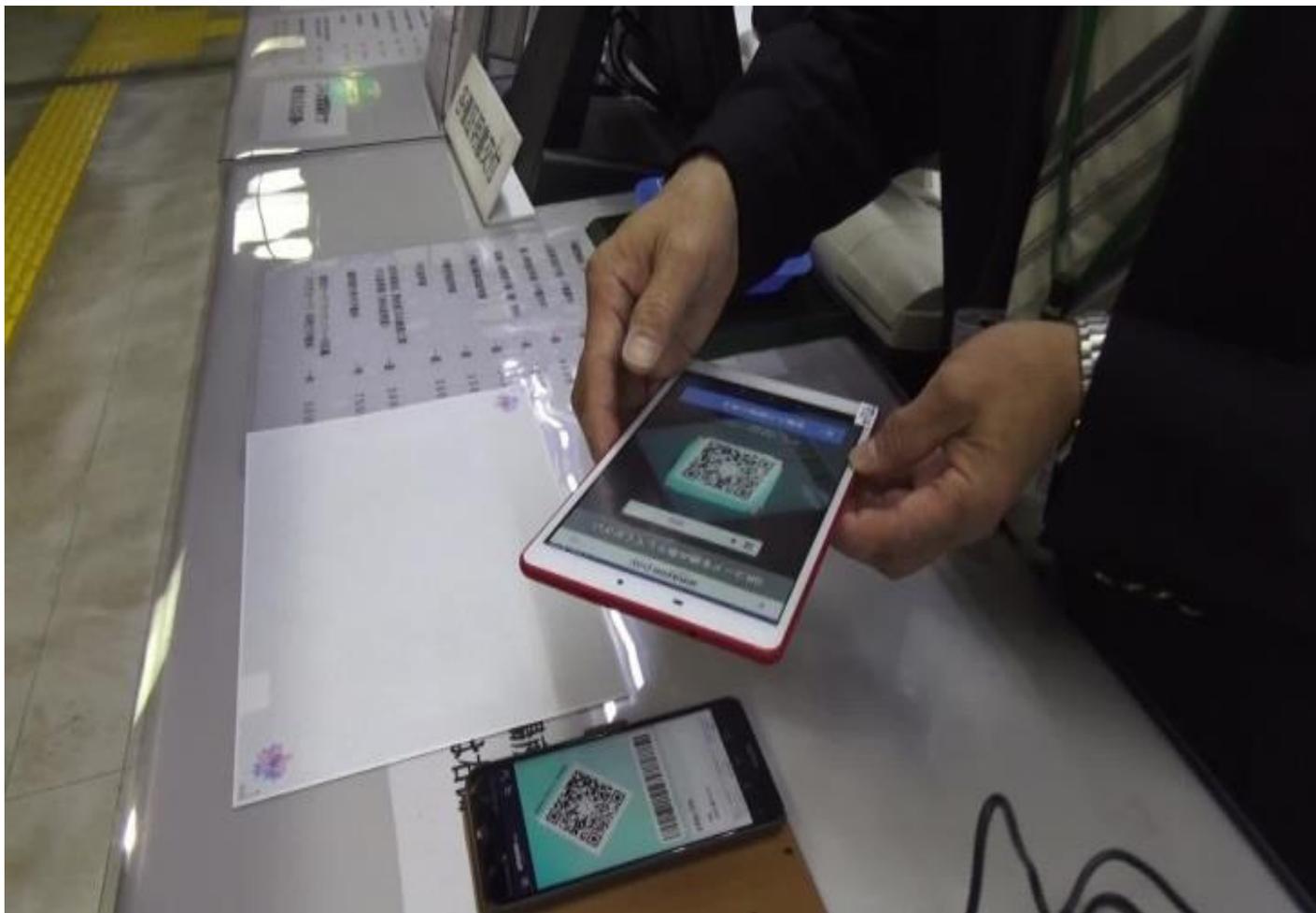
Grafferアカウントを登録する

[Grafferアカウント規約・プライバシーポリシー及び個人情報の取り扱いについてに同意の上で登録ください](#)

[Grafferアカウントをお持ちですか？](#)

② 窓口手数料のキャッシュレス化

全国で四條畷市役所のみ、窓口での手数料をQRコードで支払い可能



3 LINEを用いたまちづくり

全国初の取り組みとして、まちづくりにLINEを活用

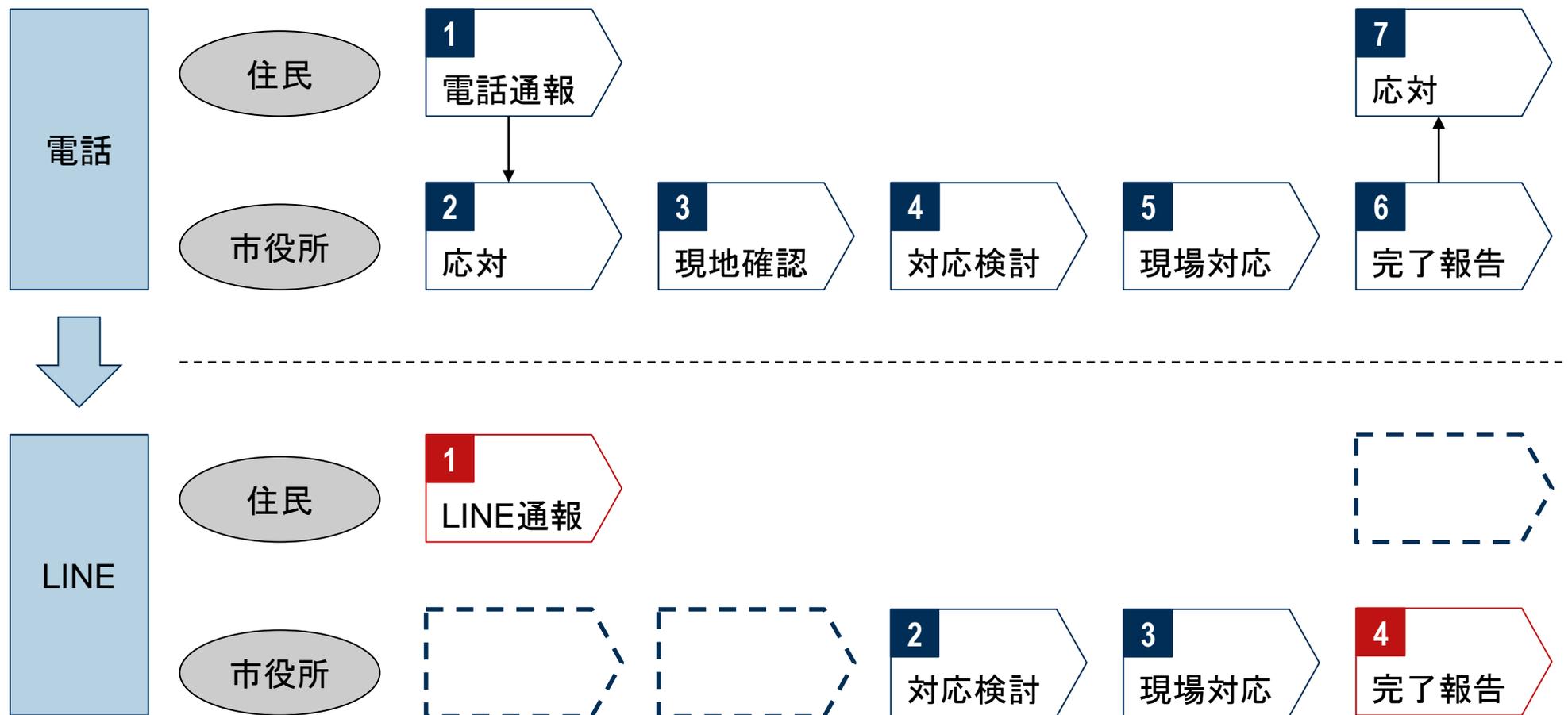


四條畷市の公式LINEと“友達”になることで、道路に関して投稿が可能に

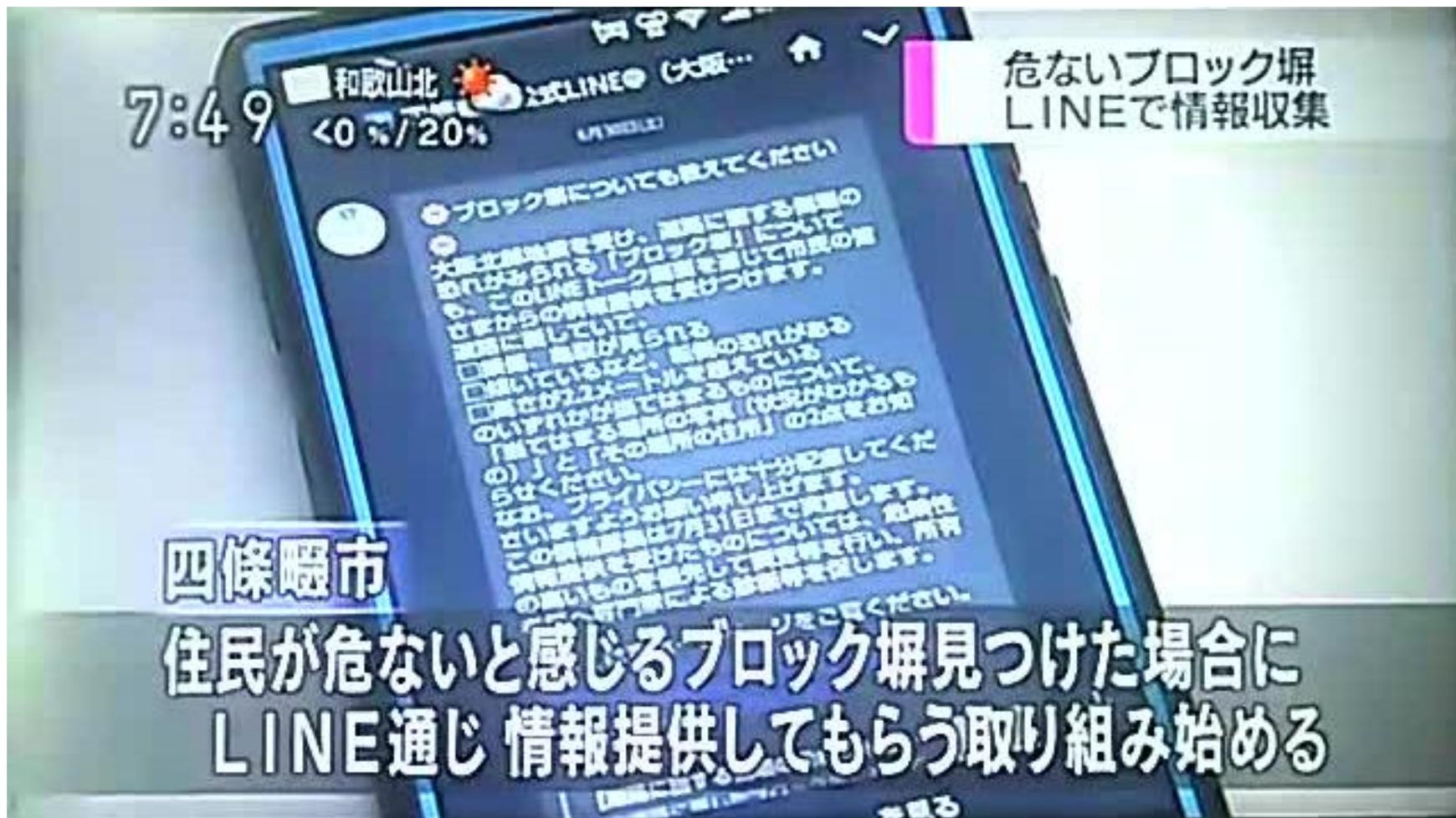


道路の陥没情報等をLINEで通報いただくことで、双方の利便性が向上

道路に関する通報の流れ



(ご参考)大阪北部地震時におけるLINE活用:危険ブロック塀の情報収集



④ オンライン面接を活用した職員採用

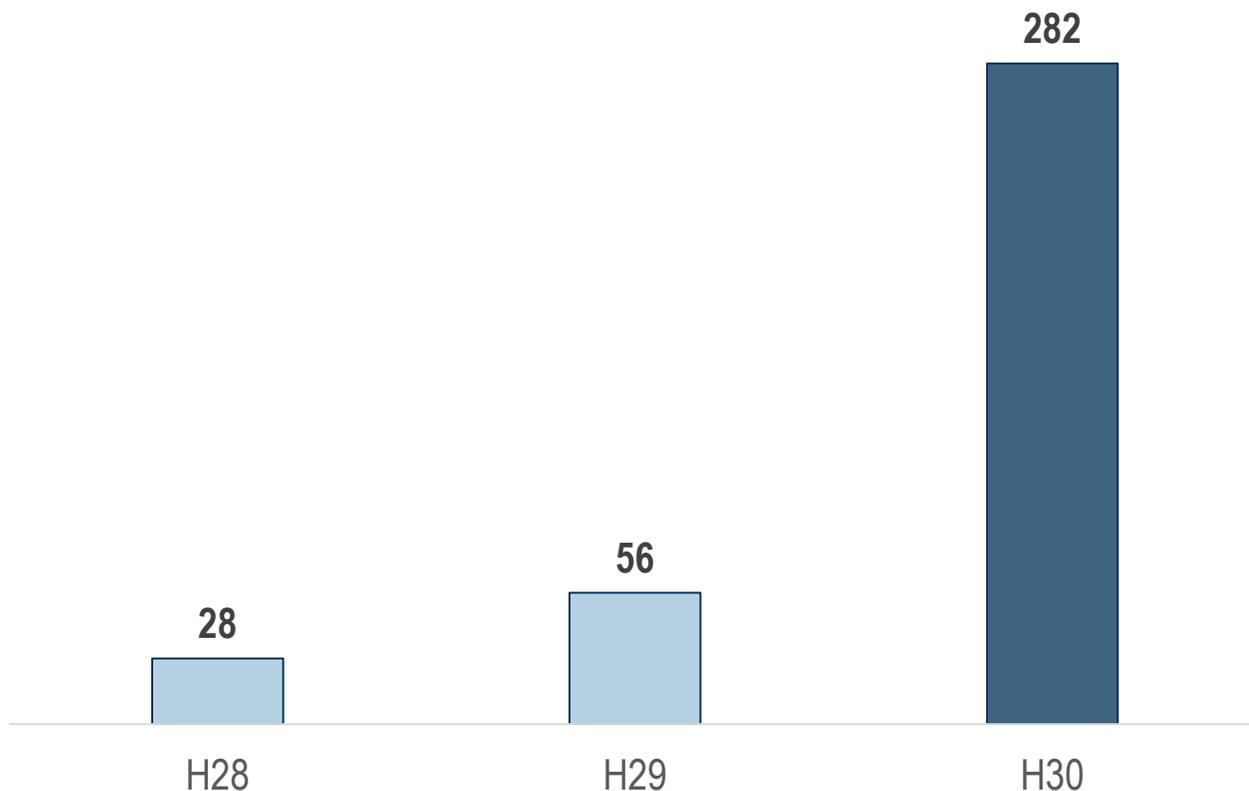
全国で唯一、職員採用においてオンラインでの面接が可能



場所や時間を問わず受験可能となり、応募者が急増

四條畷市における職員採用の応募者数(人)

※事務職(大卒程度・民間経験)のみ



10倍

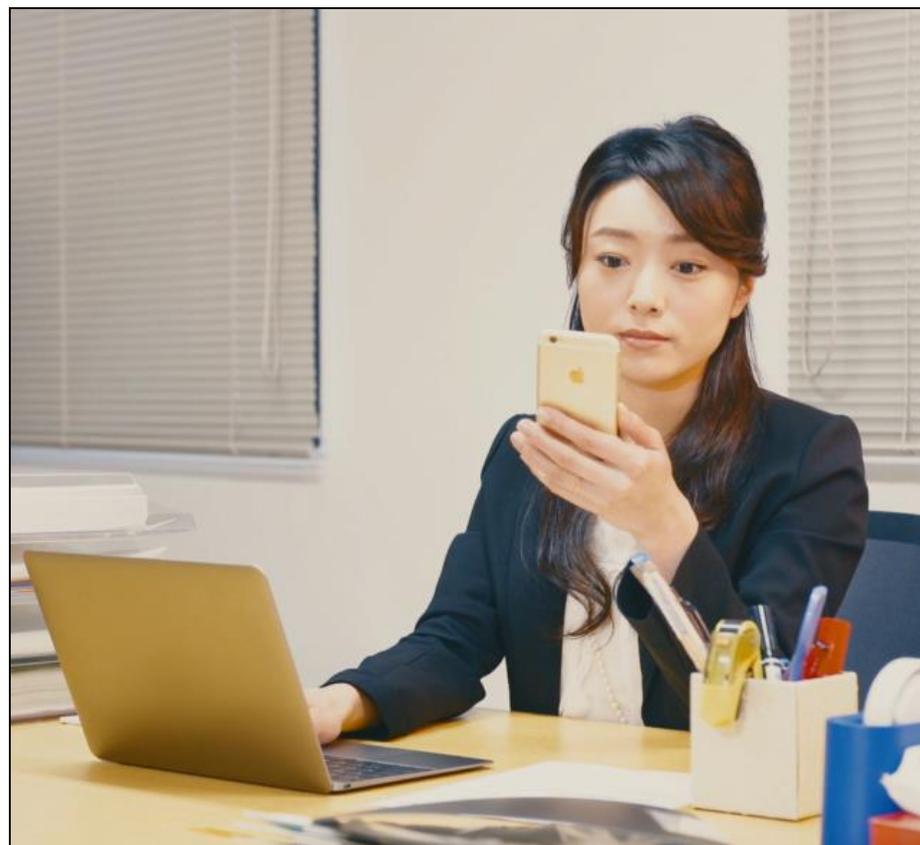
5 IoT技術を活用した子ども見守りサービス

小学生にホイッスル型の見守り端末を配布し、位置情報の確認が可能に

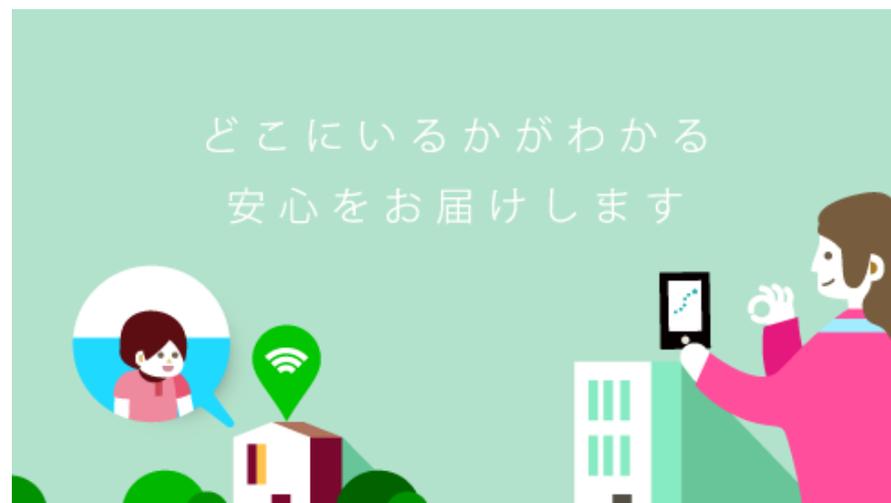
見守り端末による位置情報の発信



スマートフォンによる位置情報の確認



IoT端末から出る電波を、固定基地局・見守り人(アプリ入りスマホ)が受信



昨年実施の社会実験へのアンケートでは、好意的な回答が顕著であった

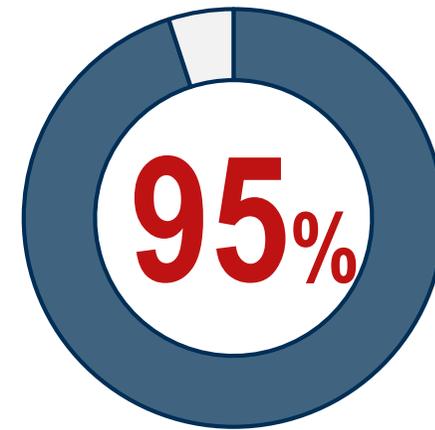
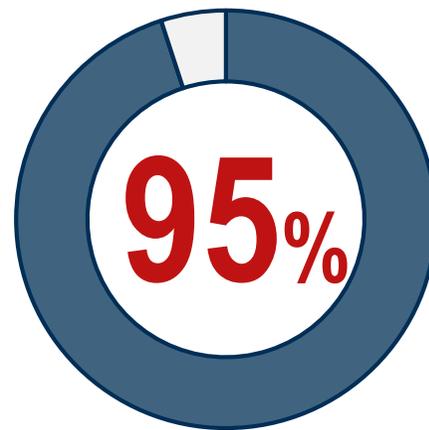
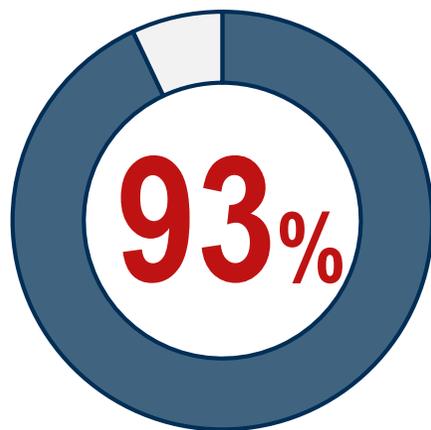
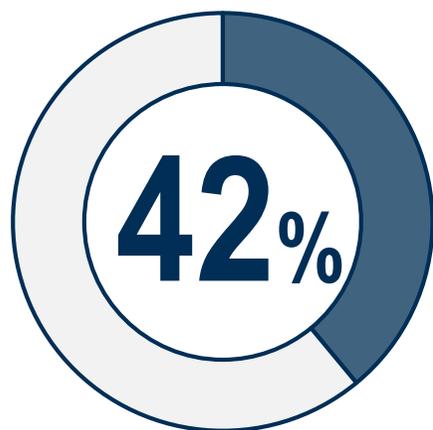
社会実験参加者を対象にしたアンケート

参加率

見守りに役立つ

今後も必要

市事業として導入希望



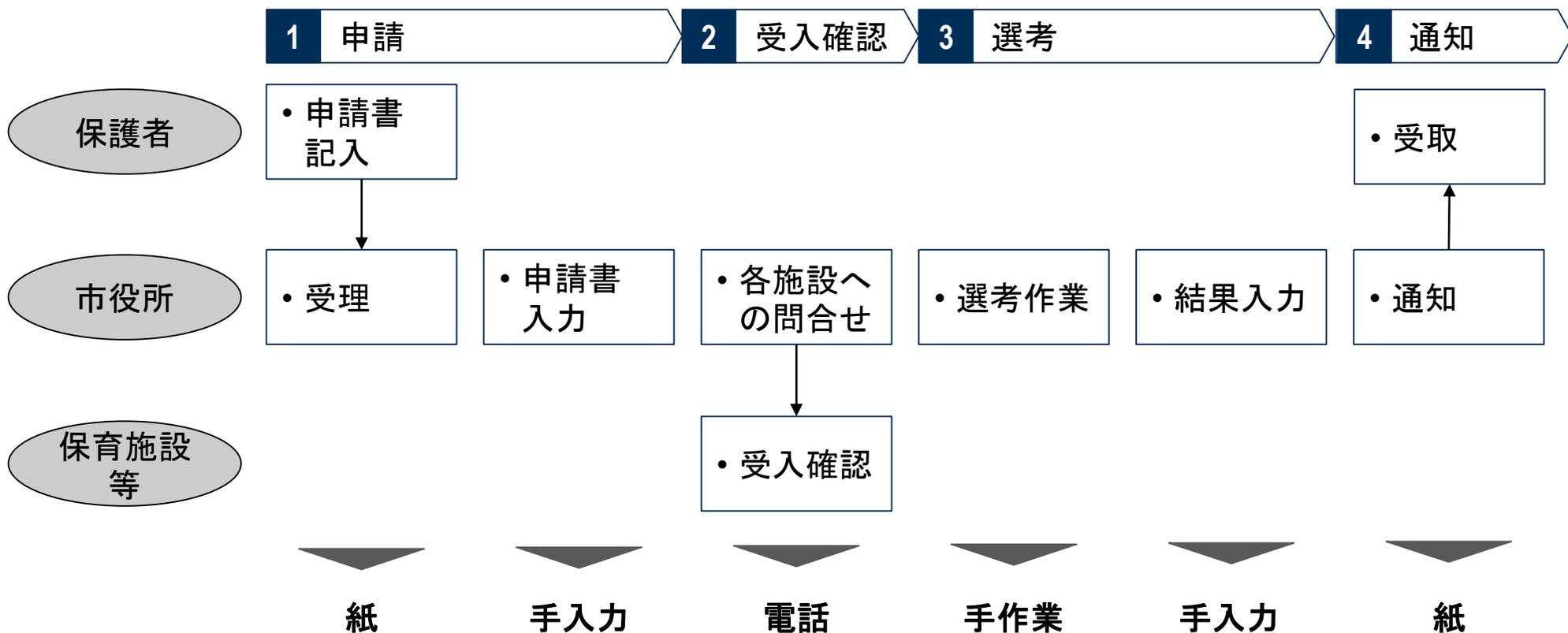
※参加者数1,207名、うち回答314名(回収率26.3%)

1. 四條畷市の概要	2
2. 四條畷市がめざす方向性	4
3. 事例紹介	9
4. 今後の取組み	30

① 保育施設等入所のシステム化

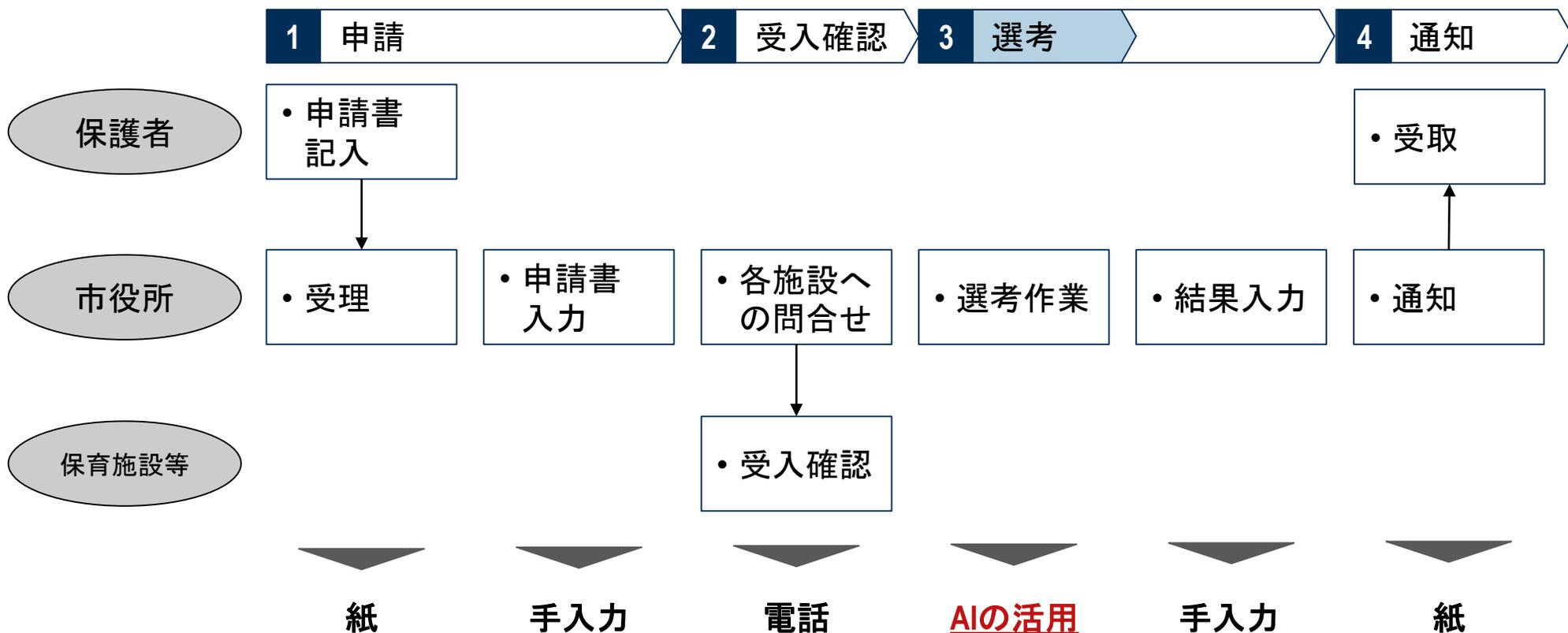
保育施設等の入所選考は、大きく4つの工程に分かれる

保育施設等における入所選考の流れ(通常)



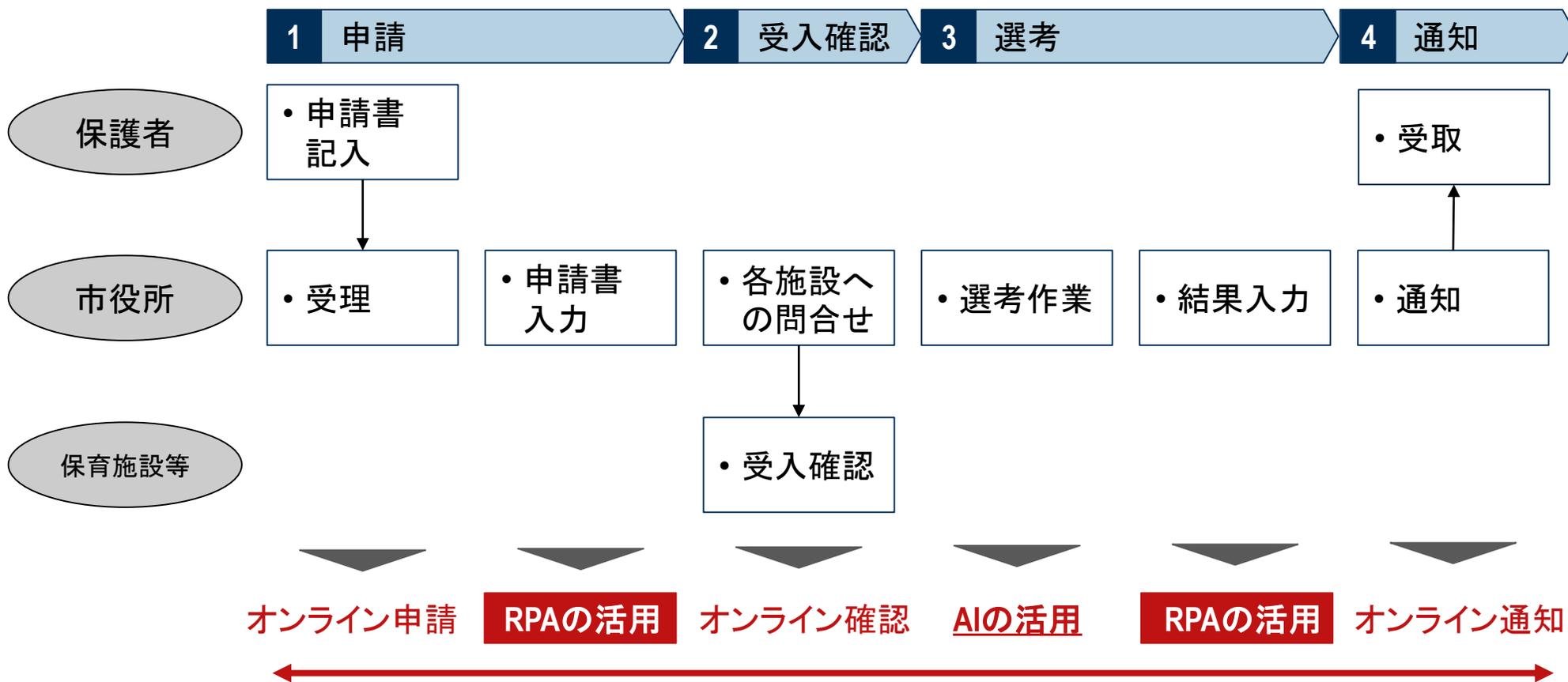
現在のAIによる入所選考では、工程の一部を簡略化しているに留まる

保育施設等における入所選考の流れ(AI活用)



四條畷市では、AIに加えRPAを活用し、令和2年度には全工程を自動化

保育施設等における入所選考の流れ(四條畷市)



※総務省の地域IoT実装推進事業における補助金交付対象として採択済

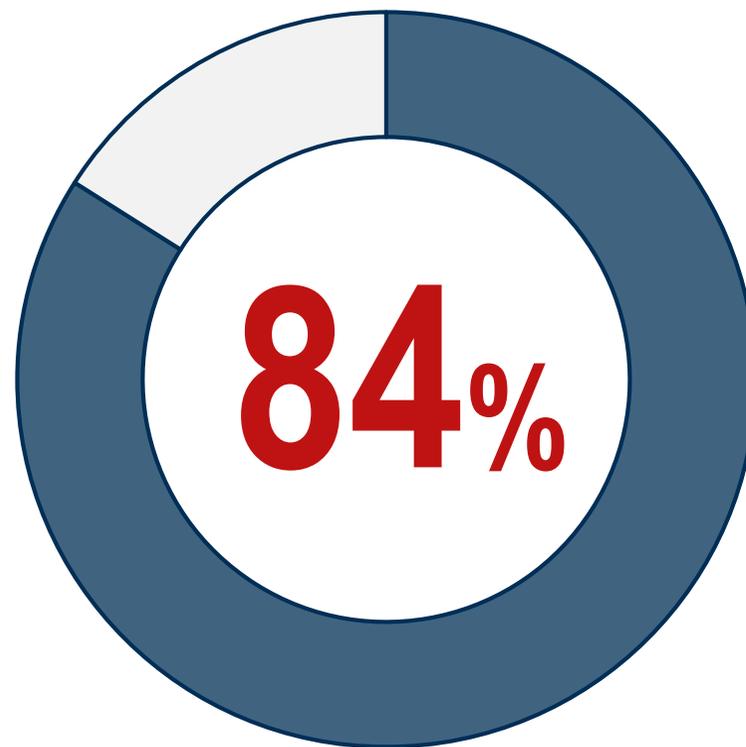
AIとRPAの活用により、業務時間は約84%削減される見込み

入所選考における自動化による削減時間(見込み)

2952時間



486時間



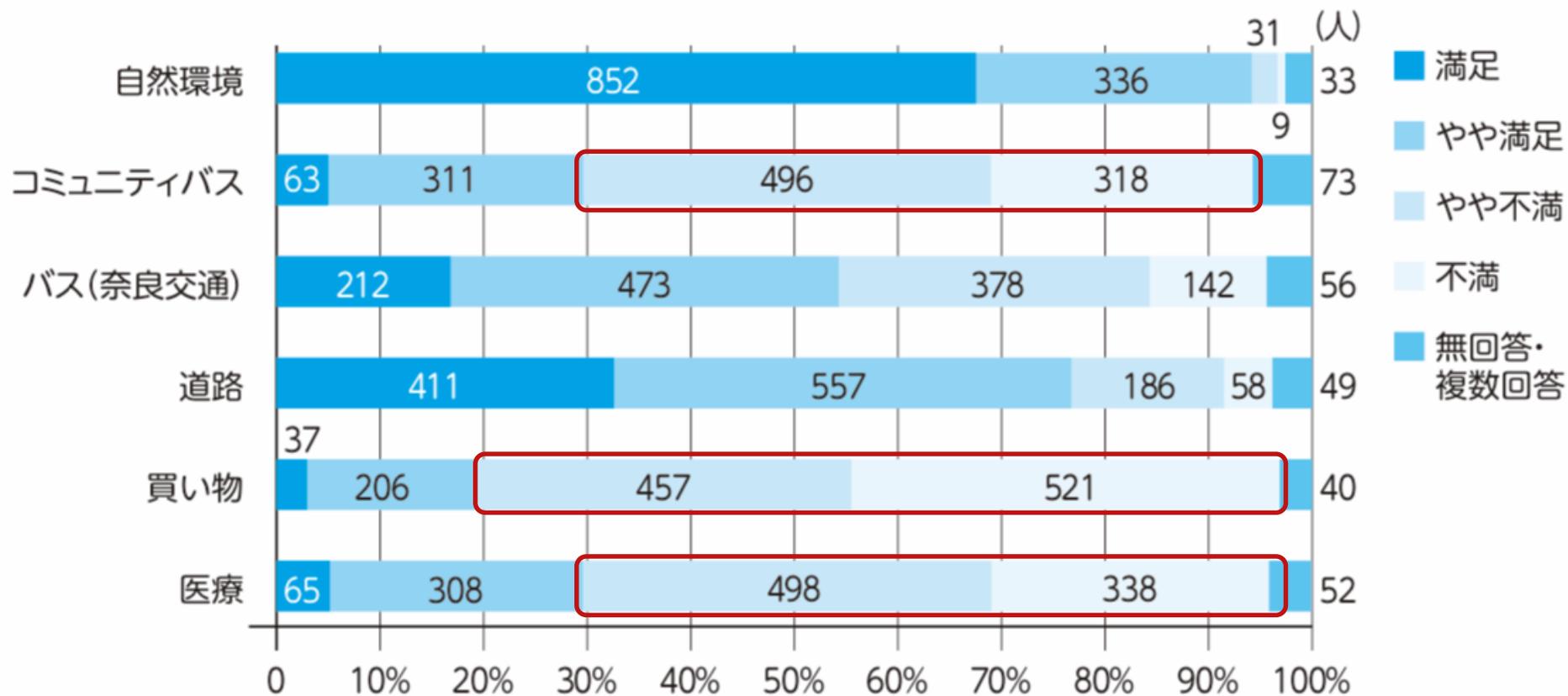
② 田原地区のスマートシティ推進

四條畷市の特徴として、東西で住環境が大きく異なる



全世帯アンケートでは、交通・買い物・医療への不満が明らかとなった

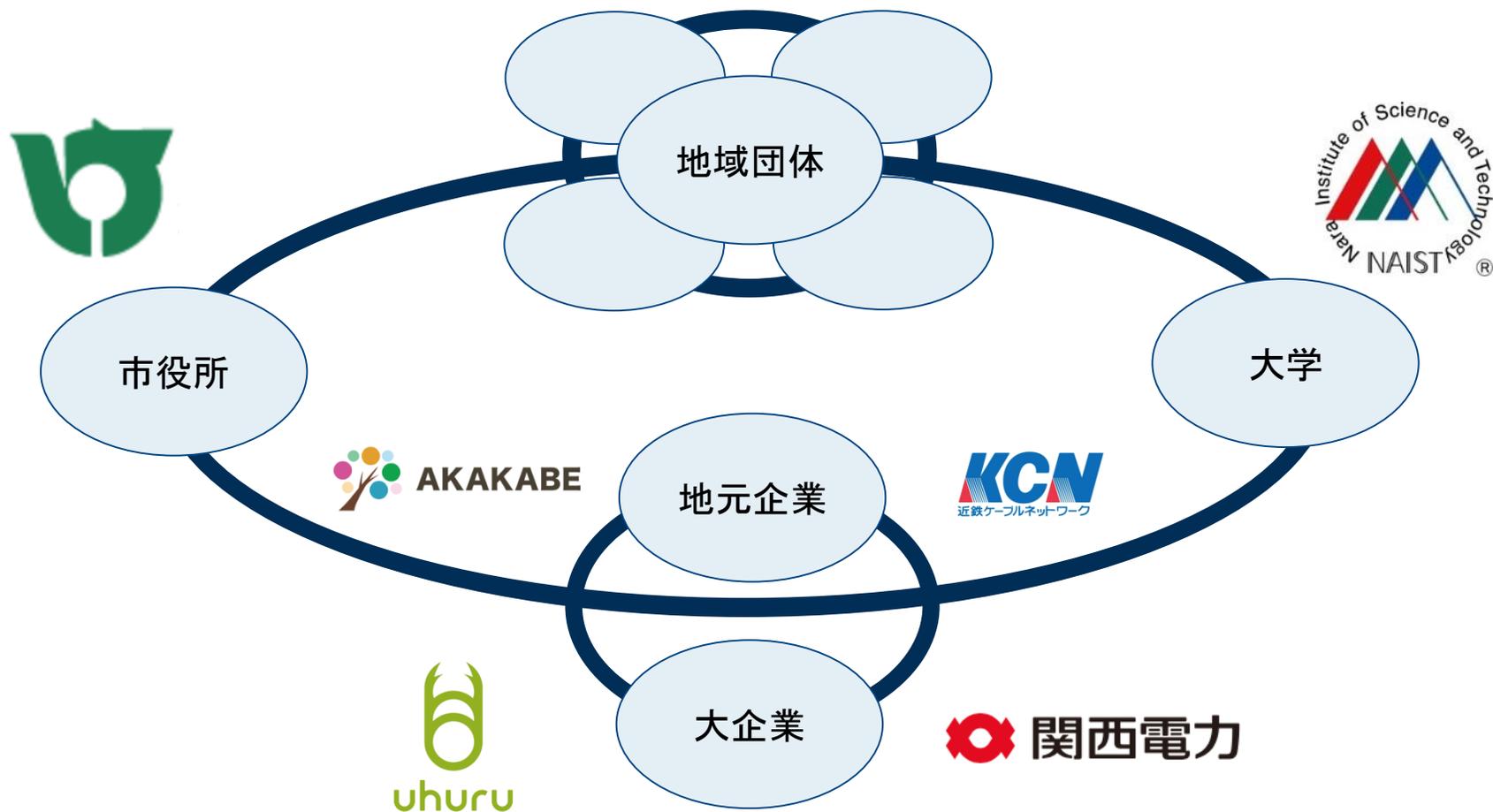
日々の暮らしのアンケート(田原地域全世帯へ配布)



※配布数3,342件、うち回答1261件(回収率37.7%)

住民を巻き込んだコンソーシアムを結成し、地域課題の解決に取り組む

「日本一前向き！」コンソーシアム(国土交通省スマートシティ推進パートナー)



ご清聴、ありがとうございました。
